

長岡技術科学大学 生物系 三井研究室
阪本 泰光

私の所属する長岡技術科学大学は、新潟県長岡市にあります。人口は18万人ほどの小都市で、夏は暑く、冬には雪が多く・・・と書くとひどいところのように聞こえますが、日本海も近く、スキー場も近いので息抜きには困りません。都会の喧騒から離れて、落ち着いて研究生活を送れるよい場所です。研究テーマはセンチクバエ由来NF-kappaB様転写制御因子SRAMの構造解析です。



さて、ビームラインアシスタント経験者から一言と
いうことですので自分がアシスタントの時やユーザーとして訪れた時に気付いた点を少し述べさせていただきます。基本的なことですが、ビームラインアシスタントは、アシスタントに何回も来ていてユーザーと顔見知りになっている場合以外は最低でも所属、名前といった簡単な自己紹介をしましょう。知らない人に実験の手伝いをしてもらうのはユーザーからすれば不安です。また、要望などを事前に聞いてどうすれば実験がスムーズに行くようにすることも必要だと思います。

たとえば、実験装置についてあらかじめ用意しておいてほしい(クライオを冷やしておくとか)という場合、ビームラインアシスタントにユーザーから連絡できる手段があればPF職員の方々の手を煩わせることなくアシスタントだけで準備できると思います。また、次のアシスタントへの引継ぎ事項を含め、アシスタント同士の連絡がBBS、メーリングリストを使ってうまくおこなえればいいのではないかと考えています。(トラブルの対処法など、まとめてあればすごく便利なのですが・・・)

私は、二回ほどビームラインアシスタントをさせていただきましたが、いろいろな方々との出会いの場ともなり、実験に対するアドバイスなど貴重な体験ができました。また機会があればやらせていただきたいと思います。まだまだ、私は未熟者ですが今後とも皆様のご指導を仰ぎながら、努力していきますのでよろしくお願いいたします。

この原稿を作成している間に、私の研究室の三井 幸雄教授が亡くなりました。先生には生前、大変お世話になりました。この場を借りて哀悼の意を表したいと思います。

阪本 泰光 長岡技術科学大学生物系三井研究室
E-mail: sakamoto@bio.nagaokaut.ac.jp